

活動報告

宮原小学校 田んぼの草取り(コナギ抜き)

7月17日、宮原小学校「田んぼの草取り(コナギ抜き)」を行いました。今回は稲に寄りそうようにして生えるコナギとりです。稲と明らかに違う葉っぱなので子どもたちは、じゃんじゃん抜いていました。歩き方もすり足で歩いていましたが、濁ってしまい、稲を踏んで倒してしまうこともしばしばあったようです。

今年はイナゴの成長が昨年よりも遅くまだ小さかったため、残念ながらイナゴ捕りはできませんでした。

最後にイナゴも小さいときにカエルやクモに食べられるように、田んぼの中にも小さな生態系が来ていることを伝え、感心していました。

どんな場所でも生き物は存在し、生活していることを改めて勉強になったと思います。その中で人間は生きており、同時に生かされているということを少しでも学んでもらえたらと思います。



▲見えるかな?



▲たくさんあるぞ!!



▲稲を踏まないように...

東陽小学校 田んぼの学校『案山子(かかし)作り』

7月16日、東陽小学校の田んぼの学校「案山子作り」を行いました。

竹、わら、麻ひも、自分たちが着なくなったシャツやズボンなどを準備し説明を受けると、3班に分かれ案山子作りの開始です。竹を十字に固定し、人間を形作るためのわらを竹にくくりつけていきます。瘦せた案山子もあれば、人間のように肉付きのいい案山子もありました。服もさまざまな種類のものがありました。農作業をしているような服装、遊びに行けるような服装など、子どもたちの想像力の広がりや垣間見た案山子作りとなりました。服に絵を描き、3体の案山子が出来上がりました。さまざまな動物たちから、もち米を守るために雨の日も風の日も守ってくれることと思います。

今はタイマーで音が出るスズメ簀や電気柵など、鳥獣害被害を軽減するためにさまざまな手段があります。立神峡公園では昔ながらの方法として、海苔網を張ったり、案山子を立てたりしています。餌があれば鳥獣は必ず寄ってくるものです。生計を立てるための農業であれば可能な限り防がねばなりません。しかし、昔ながらの農業体験を行う立神峡公園では、鳥獣被害は少なからず出てきます。逆に捉えれば、自然界の動物も安心して食べることができるもち米という事です。これからも可能な限りさまざまな人に、このような体験を提供できればと思います。



▲骨組みから



▲人間っぽくなったかな?



▲完成!!

宿泊通学リーダー研修会

毎年行われている宿泊通学に向けて、一泊二日のリーダー研修会を行いました。火起こし、まき割り、子どもたちへの接し方や指導方法、危険予知など、さまざまなプログラムを学びました。

初めての経験のリーダーも多く、火起こしに成功すると子どものようにはいしゃいでいました。あいにくの雨の中の研修になり、火起こしや、ご飯炊きは非常に難しく、内容の濃い研修となりました。全員がチームとして行動し、けがや事故が無いように宿泊通学を進めていきたいと思っています。



▲やっと付きました!

お問い合わせ・お申し込み先

立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamiky@yaho.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

秋近し鉄路のやまびこ鈴虫と
窓あけ放ち防備より益し

法道寺 本田

花風

不安持ち今年もまたやドック入り
なれどランチは全て食べたり

北野津 宮本

末秋

青柿の日毎たりて枝垂れたり
葉を食ふ虫を夫しきり捕る

高塚 桑原ゆき代

蓮の花淡きピンクと純白の
膨らみ見せて咲き初めにけり

吉本 高橋

澄子

紫陽花を絵書きて友に出すハガキ
二円切手の兎も供えて

西野津 古崎スエノ

終活はすてる事成り独り言
置みて元に思い出戻る

南鹿野 尾崎

京子

ごきぶりと生まれ来たのが身の不運
御命頂戴恨までおくれ

吉本 橋村

正之

空青く雲は真白き浮く立ちぬ
干物揺れる夏深し

西野津 古崎

栄子

俳句

見あぐれば生々流転の緑世界
八十路往く我一条の雲

桜ヶ丘

宮崎敬四郎

日本で三番目といふアコウの木
天草海岸神社の護り木

西上宮

村内 一誠

雨かなと顔を上げれば逃げる蝉
株の張り田を干し叫ぶ青田風

北野津 宮本

末秋

今日の日を励ますやふな蝉の声
今日の日を励ますやふな蝉の声

吉本 高橋

澄子

入道を映すすきまもなき青田
梅雨明けてヨイどんの蝉しぐれ

西野津 古崎スエノ

京子

口当り良くと過ぎたる冷しお茶
一行におくれ吊橋水の秋

西野津 古崎

栄子

高波に乗りていきたや秋の宿
町 香山セツ子

町 香山菊童子

蝉しぐれ末期の声か胸にしむ
一念を想いつめたる星月夜

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

照子

西郷忌

吉本

橋村

正之

征韓論に破れては
なんぞ止まる廟堂に
帰らんいざ故里に
煙り懐かし桜島

もはや我とて御し難し
此の西郷の体をば
お預け申すおはん等に
是も天命担がれる

熊本鎮台落とし得ず
田原坂でも敗れさり
辿り着きたる城山の
月も今夜が見納めか

総攻撃の官軍の
砲火逃れて来たれども
はや足迄晋介どん
お頼ん申す介錯を

終焉

法道寺

本田

花風

ハードディスクには無限の引出しがある。
吾輩のディスクはまだ余裕がある。
先を競って出番を待っている未発表が数年先まである。
しかも中長編が多く出番はすぐにはやって来ない。

人間の条件(四編)・囲碁と右脳左脳(三編)・iモード事件(松永真理著)の榎と私(五編)・三島由紀夫の本質(長編)・太陽をコントロール・もらい風呂・悔悟と言うほどのものでなし(長編)・出会い「小田切秀雄教室」等々。

待ち草臥れた彼らは反逆を起こし自分で引出しに鍵をかけてしまった。然らば投稿は次号の「バラの詩」で終止符を打つことにする。

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。

また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。

